

令和8年度 富岡市社会福祉協議会 事業計画

I 基本方針

令和8年度は、団塊の世代が後期高齢者となり医療や介護の需要が高くなる「2025年問題」の年を越え、少子高齢化がより社会に深刻な影響を及ぼすと懸念されている「2040年問題」へと向かっていきます。また、地域社会では孤独や孤立・貧困問題・複雑化する課題を抱える個人や世帯の増加等、多くの福祉課題が潜在化しています。

このような中、国では子ども・高齢者・障害者など全ての人々が地域で暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指しています。今までのような支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域の方々がともに支え合いながら自分らしく活躍でき、協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域力強化」への期待が高まっています。

昨年度、富岡市が定める「第4次地域福祉計画」にあわせて、その計画の行動指針である「第4次地域福祉活動計画」を市と一体的に策定しました。この計画は、令和8年度からの5カ年の福祉施策と具体的な活動内容を定めた、地域福祉を推進するための基本的な方向性を示すものです。

本会では、地域福祉を推進する中核的な組織として、計画の基本理念である「ともに支え合い 誰もがいきいき 元気なまち『とみおか』」の実現に向けて、地域住民・関係機関・行政と連携しながら持続可能で包摂的な福祉のまちづくりに向けて、着実に歩みを進めてまいります。

II 重点目標

- 1 第4次地域福祉活動計画の着実な実施
- 2 公的制度外福祉サービスの実施及び研究開発
- 3 生活困窮者支援の強化
- 4 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進
- 5 福祉施設の効率的運営と経営体制の強化
- 6 社協職員の意識改革と資質の向上
- 7 事業継続計画（BCP）の定期的な見直し

Ⅲ 実施事業

1 法人運営の基盤整備

- ①法人運営の基盤整備及び経営体制の強化
 - ・理事会・評議員会の開催
 - ・適正な労務管理及び会計処理
 - ・各種法令に基づく諸規程の整備及び改正
 - ・職員の適正配置及び将来計画の検討
 - ・自主財源の確保に向けた取り組み強化【新規】
- ②会員制度の推進及び新規会員の発掘
 - ・会員制度についての周知と一般会員の増強
 - ・新規特別会員の発掘
- ③社協活動の情報発信
 - ・ホームページによる情報の発信
 - ・広報紙（社協だより）の発行
 - ・職員ワーキンググループによる広報紙の充実
- ④役員・職員の資質向上と事業への参加
 - ・役職員研修の開催
 - ・新任職員研修会の開催
 - ・関係機関が実施する研修会への積極的参加
 - ・福祉資格取得促進への助成
 - ・職場会議における情報の共有
 - ・各種事業への参加・協力
 - ・キャリアパス制度に基づく人材育成の推進【新規】
- ⑤各種関係機関・団体との連携強化
 - ・民生委員児童委員協議会への運営協力及び連携・助成
 - ・富岡市共同募金委員会の運営協力
 - ・富岡市遺族会の運営協力
 - ・福祉事業への協力依頼
 - ・県社協及び近隣市町村社協との連携強化
 - ・社会福祉法人連携に係る社会福祉法人連絡会の運営

2 地域福祉事業の推進

- ①身近なところで支援が受けられる事業の展開
 - ・心配ごと相談所の開設
 - ・日常生活自立支援事業
 - ・生活福祉資金貸付事業

- ・富岡市高齢者等安心ネットワーク連絡協議会の運営
- ・車椅子の短期貸出
- ・福祉車両の貸出
- ・手押し車（シルバーカー）購入補助事業
- ・高齢者、障害者、母子・父子世帯等に対する歳末見舞
- ・ひとり暮らし高齢者見守り訪問事業
- ・災害見舞金事業
- ・安心カードの更新
- ・緊急食料等提供事業
- ・生活困窮者自立支援事業の強化
- ・生活困窮世帯の子どもに対する無料学習塾の開催
- ・コロナ禍により発生した新たな福祉課題への取り組み
- ・生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の育成強化
- ・フードバンク事業【新規】

②全ての市民が積極的に参加できる福祉事業の展開

- ・さつまいも収穫祭
- ・わくわくフェスティバル
- ・赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金
- ・善意銀行の運営強化
- ・地域支援事業（生活支援体制整備事業）の受託
- ・地域における支え合い活動の推進
- ・生活支援ボランティア養成講座の開催
- ・支部社会福祉協議会との連携

③ボランティア活動及び福祉教育の推進

- ・ボランティア保険の加入促進
- ・ボランティア情報の発信
- ・中学生ボランティア体験学習
- ・ボランティア連絡協議会の組織強化及び助成
- ・災害ボランティアセンター設置訓練の開催
- ・収集ボランティア事業
- ・傾聴ボランティア派遣事業
- ・外国コイン紙幣募金事業
- ・福祉機器の貸出（車椅子・アイマスク・点字器・高齢者疑似体験器具）
- ・福祉教育講座の活動強化
- ・福祉教育プログラムの作成・配布
- ・関係機関と連携した福祉体験等の推進

3 在宅サービス事業の推進

- ① 居宅介護支援事業の安定経営及びサービスの向上
 - ・利用者本位に基づくケアマネジメント業務の充実
 - ・在宅介護の推進
 - ・要介護認定調査の受託

- ② 事業所体制の整備
 - ・24時間支援体制の充実
 - ・緊急時連絡体制の強化

- ③ 職員の資質向上
 - ・関係機関が実施する研修会への積極的参加
 - ・職場内における情報の積極的共有
 - ・職場内研修会の開催

4 福祉施設事業の推進

- ① 地域活動支援センターつくし学園の安定経営及びサービスの向上
 - ・利用者が生きがいを実感できる施設の運営
 - ・作業活動の安定的確保及び工賃収入増加への取り組み
 - ・社会参加研修及びレクリエーション活動の充実
 - ・研修等への積極的参加による職員の資質向上
 - ・利用者確保に向けたPR活動の積極的取り組み
 - ・知的障害者福祉月間（9月）の啓発活動の推進
 - ・障害者支援ボランティアの受け入れ

- ② 救護施設妙義白雲寮の安定経営
 - ・生きがいのある生活づくりと安全の確保
 - ・施設の社会化と地域交流の推進
 - ・研修等への積極的参加による職員の資質向上
 - ・土砂災害や防犯を含めた防災対策の強化
 - ・入所者の増員
 - ・ホームページによる情報の発信